



第106号

森商工会議所だより

発行者

森商工会議所

会頭伊藤新吉

電話 2-2432

令和7年度

第1回通常議員総会開催

令和7年度第1回通常議員総会が6月25日(水)『プラザ武蔵』に於いて開催され、議員46名(内委任状25名)が出席、はじめに、監事より監査報告がなされ、その後、令和6年度事業報告並びに収支決算報告が行われ、審議した結果、満場一致で承認されました。

【事業報告総括】

令和6年は、元日に能登半島地震の発生、翌日には被災地支援に向かう海上保安庁の航空機とJAL 516便が滑走路上で衝突、航空事故を起こすという大惨事が続き、波乱の幕開けとなりました。被災された皆様にあらためてお見舞い申し上げますとともに、皆様の安全と被災地の一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

さて、我国の情勢を振り返りますと、経済財政運営に当たっては、経済の再生を最優先課題とし、引き続き「新しい資本主義」の旗の下、社会的課題解決と経済成長の実現を掲げました。令和6年7月には、20年ぶりに新紙幣が発行され、商工会議所創設者である渋沢栄一翁が一万円札に描かれたことは、私共にとりましても喜ばしいことであります。

「日本資本主義の父」と呼ばれた渋沢翁の理念が受け継がれ、あらゆる社会課題の解決に向けた取り組みを期待いたすも、現在の日本は資本主義と呼べるのか疑問が残ります。我々を取巻く現状において、持続的賃上げの実現や企業の設備投資意欲の増大などは、大都市圏の一部大手企業にとどまり、地方の中小零細企業は依然として厳しい経営環境に晒され、都市と地方との格差は広がる一方であります。

エネルギー価格と原材料価格が高止まりする中、「コメ価格2倍高騰」は深刻な社会問題として我々の生活に直接打撃を与えており、適切な政府対応が望まれるも、その効果は一向に見られず、政治への不信にも歯止めがかりません。

世界情勢を顧みますと、第2次トランプ政権による政策では、自国第一主義を貫き、「トランプ関税」を発動。二転三転する関税措置に、世界中が警戒感を強め、予断を許さない状況であります。他方、3年を経過したロシア・ウクライナ戦争の停戦に向け、トランプ大統領が介入するなど新たな動きが見られ、早期の戦争終結を願うものです。

その様な中、地元では、北海道新幹線の札幌延伸が従来の目標から大幅に遅れ、「2038年度末」と報告されました。沿線関係団体では、一日も早い開業を国へ求める動きが見られますが、ピンチをチャ

ンスと捉え、従来の見方を変え、新たな価値創造に尽力すべきです。また、JR貨物は日本の物流を支える重要な存在であり、北海道においては、「日本の食糧宝庫」と呼ばれるこの地の農産物や海産物を、全国へ輸送する上で不可欠な役割を担っております。大都市圏を始めとする遠く離れた消費地へ、効率的かつ安定的に届けるこの大動脈を何としても守らねばなりません。

さて、当所では様々な知恵と工夫を凝らし、令和6年度事業に取組んでまいりました。前年度に引き続き実施いたしました町民向けプレミアム商品券(建設商品券9)は、通算9回目を迎え、本年は特に、近年の猛暑による健康被害、熱中症対策として、エアコン設置を強力にサポートいたしました。町民の皆様には高い関心をお寄せ頂き、「建設商品券9」は目標販売額を大きく上回り、実に135%の達成率となりました。当所では森町へ補助金の増額を要請いたし、ご支援を賜り、申込者全員にご購入頂くことができました。

さらに、森町の経済活性化を図る目的で、森町役場と連携した「もりまち応援券4」事業を、一昨年に続き実施いたしました。物価高騰・原材料高などの影響を受けている町民の皆様の一助を担うとともに、地元経済の回復に努めました。

また、コロナ禍を経て、人々の生活スタイルが変化したことなどにより、縮小する地元飲食店に活気を取り戻そうと、5年ぶりに「モリッキー街」を開催。この度は、土・日曜日の週末開催とし、平日開催では取りこぼしがちな町外からの集客にも功を奏しました。

さて、豊かな農水産物を有する我が森町ですが、知名度の引上げが課題のひとつであります。ポテンシャルの高い地元特産品を国内外に広く発信するため「商談会等出展支援事業」を令和6年度も継続して実施し、更なる支援強化に努めました。

この様に、森町の諸課題を解決し、力強く前進するためには、森町役場、とりわけ森町長はじめ、森町議会、地元企業、経済団体等のコミュニケーションが何より重要と考慮いたし、岡嶋町長様と年に4回の懇談会開催の約束をいたしました。しかしながら、令和6年度においては6月開催の一度きりで、コミュニケーション不足は否めません。より良い街づくりを進めるためには、情報共有と相互理解は不可欠であり、2月には当所と森町議会との意見交換会を開催。今、森町にとって真に必要なモノは何なのか。森町役場新庁舎建設をはじめ、道の駅整備に係る詳細など、森町の将来を見据えた適切な町政が執行されるよう、議員の方々に議会機能の充実をお願いするとともに、多岐にわたるテーマで有意義な議論が行われ、活発な意見交換がなされました。

また、老朽化する地域インフラ整備や防災対策について、例年、函館開発建設部との意見交換会を実施しております。活火山駒ヶ岳のふもとに位置する森町は、火山噴火による災害の危険性が高く、また、地震・津波発生時に、町民の生命、財産を守るためには、避難道の設置が急務であります。当局との意見交換を通し、関係機関からの情報提供を受け、当町の抱える諸課題の現況を伝えるとともに、改善へ向けた取組みを要望し続けております。

令和6年度 森商工会議所収入支出決算書総括表

自 令和6年4月1日 ~ 至 令和7年3月31日

(単位:円)

科目 / 区分	一般会計	相談所会計	収益事業会計	退職金会計	基金会計	合 計
	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	
会 費	9,173,500					9,173,500
特定商工業者負担金	207,000					207,000
道 費 補 助 金		17,764,679				17,764,679
町 補 助 金	9,477,000	8,199,000				17,676,000
商談会等出展支援事業補助金	400,000					400,000
プレミアム商品券販売事業補助金	13,838,268					13,838,268
事業収入	211,000	364,000	8,397,989			8,972,989
雑収入	539,778	44,169	6,274,367	6,511	10,200	6,875,025
繰入金	2,000,000	42,717		500,000	2,000,000	4,542,717
繰越金	3,143,432	0	6,905,009	11,985,043	24,581,288	46,614,772
収入合計	38,989,978	26,414,565	21,577,365	12,491,554	26,591,488	126,064,950

科目 / 区分	一般会計	相談所会計	収益事業会計	退職金会計	基金会計	合 計
	決算額	決算額	決算額	決算額	決算額	
事業費	1,782,924	1,726,876	0			3,509,800
プレミアム商品券販売事業費	13,838,268					13,838,268
給与厚生費	6,931,825	18,229,656	2,160,000			27,321,481
福利厚生費	1,245,090	3,029,354	390,289			4,664,733
旅費交通費	635,120	584,991	0			1,220,111
事務費	4,265,137	716,696	1,217,042			6,198,875
家屋費	2,230,956					2,230,956
会議費	274,531	23,000	0			297,531
渉外費	353,350		0			353,350
支払手数料			221,045			221,045
賃貸料						0
公課分担金	918,300		864,900			1,783,200
福利環境整備費		860,472				860,472
繰出金	2,542,717		2,000,000		0	4,542,717
退職給与金				0		0
雑費	123,197	103,520	82,084			308,801
森町補助金返還額		1,140,000				1,140,000
未納会費回収不能額	45,500					45,500
予備費	0	0	0	0	0	0
支出合計	35,186,915	26,414,565	6,935,360	0	0	68,536,840
収支剰余金	3,803,063	0	14,642,005	12,491,554	26,591,488	57,528,110
合 計	38,989,978	26,414,565	21,577,365	12,491,554	26,591,488	126,064,950

当所相談業務においては、会員様の経営指導の強化、税制改正対策、労務管理の指導強化、その他、経済情勢に対処するため「中小企業等事業再構築促進補助金」の申請に伴うサポートならびに「森町特定創業支援等事業認定」に係る相談、アドバイスならびに「森町創業支援事業補助金」事業計画に係る相談、指導等を積極的に実施いたしました。また、確定申告の時期には、個別の事業所へのきめ細やかな対応にも尽力いたしました。

なお、当所財政基盤の強化を図るため、新入

会員の加入勧奨を積極的に行い、令和6年度は、4事業所の加入実績でありましたが、経営不振や高齢のため、17事業所様が退会されました。

ほかに、会員企業従業員の福利厚生のための各種共済制度の充実と、健康経営の推進、また、各種検定試験の実施、ホームページによる企業情報の発信など、地域経済総合発展のため会員並びに役員一同、総力を結集して活動してまいりました。

以下、令和6年度森商工会議所の事項別事業の概要を報告いたします。

◎役員・議員・職員 表彰

◆日本商工会議所

永年勤続表彰

【役員・議員20年以上】

・議員 種田真也 代表取締役

◆北海道商工会議所連合会

永年勤続表彰

【役員・議員30年以上】

・議員 中澤克宣 代表取締役

【職員 員10年以上】

・相談課長 岩村勇輝 (敬称略)

令和7年度第2期分

会費納入のお願い

7月は、当商工会議所の会費納入月となっております。
会費の納入はお手数ですがお振込または事務所までご持参下さいます様お願い申し上げます。

納付期限
8月8日(金)

森商工会議所・浦河商工会議所 運営体制にかかわる意見交換会

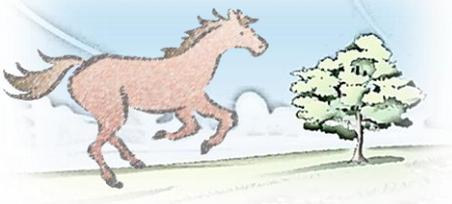
日高管内の太平洋沿岸に位置する浦河町は、日高山脈と太平洋に囲まれた自然豊かな町です。サラブレッドの生産が盛んで、「馬のまち」として知られています。

令和7年5月12日

(月)当所2階・交流イベントサロンにおいて浦河商工会議所ならびに森商工会議所役員10名により意見交換会が開催されました。



事務局(職員体制)・議員体制・各助成金・町づくり等について双方の会議所現況が説明された後、今後の会議所運営について、変化の激しい時代に対応し、会員にとって必要とされる会議所であり続けるために何をすべきか等、活発な意見交換がなされました。



第73回全道商工会議所大会

7月4日～5日の2日間、北見市に於いて第73回全道商工会議所大会が開催され、全道42商工会議所から約420名が出席しました。当所からは、伊藤会頭はじめ8名の役員・職員が参加いたしました。

大会初日はゴルフ大会を懇親会が開催され、ゴルフ大会には伊藤会頭・伊藤昇常議員・河野昭次常議員が参加いたしました。また、ホテル黒部にて開催された懇親会では地元、北見をはじめ道東・オホーツクの網走、釧路、根室の特産品をふんだんに使ったお料理がテーブルを彩り、和やかなうちに進行されました。



2日目は、第一部(全道大会本大会)と第二部(特別講演)が行われ、本大会では、はじめに、国歌斉唱、物故会員へ黙祷を捧げ、つぎに、大会主催者を代表して道商連会頭 岩田圭剛氏が挨拶をされ、北見商工会議所 舩川誠氏が開催地会頭挨拶をされました。

つづいて、来賓者が紹介され、北海道経済産業局長 浦田秀行氏、北海道知事代理 三橋剛副知事、北見市長 辻直孝氏、日本商工会議所常務理事 畠山一成氏の4名が祝辞を述べられました。

議事においては、道内42商工会議所で取りまとめた地域の諸課題に対する政策提言・要望事項として、「現下の状況を打開する早急な景気・経済対策の実行」、「人手不足への対応強化並びに地域人材の確保・育成」、「中小・小規模事業者の事業活動を支える環境整備」など、特別提案を含む13議案が発表され、満場一致で採決されました。

この政策提言・要望事項は、当日、北海道や道内の関係省庁に手交されたほか、後日、国の財務省や国土交通省などの関係省庁に中央要望を行います。

新規学校卒業者の雇用に係る要請

去る6月16日(月)、北海道教育庁渡島教育局長 長居成好氏、北海道渡島総合振興局長 佐藤秀行氏、外5名が来所され、新規学卒者の雇用について左記の要望書が伊藤会頭に手交されました。

会員事業所の皆さまにおかれましても、新規学校卒業者に対する職業選択を的確に行うためのウェブページ上での企業情報発信や職業理解のためのインターンシップの受け入れ等について、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

〈新規学卒者の採用活動と職場定着についてのお願い〉

平素より地域における経済・雇用対策の推進につきまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、函館公共職業安定所管内における高等学校卒業者の就職内定率は98.5%、求人倍率は2.32倍と、いずれも前年に続き良好な水準となりました。

これはひとえに貴会並びに会員企業の皆様の新規学卒者の採用に対する御尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

一方で、北海道においては令和6年3月時点における新規高卒就職者の3年以内離職率は45.3%と、全国と比較しても高い傾向にあり、若年者の道外流出も含め、重要な課題となっております。

こうした状況を踏まえ、関係行政機関では、新規学卒者の早期離職の防止や職場定着の促進等のため、在学中からの勤労観・職業観の醸成や、企業との連携による就職後のフォローアップ体制の充実に取り組んでおります。

学生が自身の将来像を具体的に描き、自分に適した職業選択を行えるように支援することは、職業選択の適正化に資するものであり、近年では、就職活動においてウェブページ上の情報が重視される傾向が強まっておりますことから、仕事内容や職場環境、育成方針などの企業情報についても、ウェブページ上での積極的な発信をしていただきますよう、御協力をお願いいたします。

併せて、インターンシップにつきましては、職業理解を深め、入社後のミスマッチや早期離職を防ぐ観点からも極めて有効です。学生が職場や業務内容を体感できる機会として、積極的な受け入れについても御配慮賜りますようお願い申し上げます。

また、今年度から全国高等学校統一用紙が大幅に改正され、パソコンによる作成も可能となりました。これに伴い、応募書類の作成方法により不利益な取扱いがなされることのないよう、適切な対応をお願いすることとともに、公正な採用選考の遵守についても改めてご確認くださいようお願いいたします。

さらに、新規学卒者が早期に離職することなく、企業の中でスキルを積み重ね成長していけるよう、個別の指導やフォローアップを通じた丁寧な育成の推進についても、特段の御配慮をお願い申し上げます。

今後とも、貴会並びに会員企業の皆様の変わらぬ御理解と御協力を賜りますよう、よろしく御礼申し上げます。



働く皆様に安心を。



で退職金。

「中退共」は中小企業のための
国の退職金制度です。

① 国の退職金制度!

掛金の一部を国が助成します。

② 外部積立型でラクラク管理!

管理や運用の手間がかかりません。

③ 掛金は全額非課税でオトク!

節税に加え、手数料もかかりません。

- パートタイマーさんもお加入いただけます。

- 他の退職金・企業年金制度等との資産移換も可能です。



詳しくはホームページ
をご覧ください。